

2016年3月期 第3四半期電話会議資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

財務IR部 IRグループ

TEL: 03-3248-2167

E-mail: irinfo@nichirei.co.jp

URL: <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

主力2事業が引き続き好調に推移

単位: 億円

	2016年3月期												
	第3四半期			第3四半期(累計)			通期						
	実績	前年同期間比		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		中計比	
		増減	率		増減	率		増減	率	前回見込	増減	中計	増減
加工食品	513	10	2%	1,513	45	3%	1,985	46	2%	1,985	0	1,842	143
水産	217	13	6%	558	6	1%	689	2	0%	689	0	650	39
畜産	252	10	4%	702	40	6%	881	-14	-2%	881	0	735	146
低温物流	480	20	4%	1,397	47	4%	1,820	37	2%	1,820	0	1,790	30
不動産	12	0	4%	35	-1	-3%	47	-0	-1%	47	0	48	-1
その他	15	4	39%	38	10	35%	49	5	12%	49	0	45	4
調整額	-49	-0	-	-150	-1	-	-200	-4	-	-200	0	-198	-2
売上高合計	1,440	57	4%	4,093	146	4%	5,271	71	1%	5,271	0	4,912	359
加工食品	31	14	80%	65	27	70%	68	14	26%	68	0	82	-14
水産	6	4	188%	7	3	62%	4	2	63%	4	0	7	-3
畜産	3	1	79%	7	3	67%	6	2	60%	6	0	7	-1
低温物流	35	5	15%	88	16	23%	100	13	15%	100	0	90	10
不動産	6	-0	-0%	17	1	5%	21	-0	-1%	21	0	21	0
その他	3	1	84%	6	4	140%	6	0	6%	6	0	5	1
調整額	0	-1	-	-3	-2	-	-5	-5	-	-5	0	-8	3
営業利益合計	83	24	41%	187	52	38%	200	26	15%	200	0	204	-4
経常利益	83	25	43%	187	52	39%	194	25	15%	194	0	197	-3
純利益	54	19	55%	117	40	52%	120	25	26%	120	0	120	0

為替レート	2015年度 見込	2015年度 実績	2014年度 実績
米ドル/円	122.00	120.90	102.96
ユーロ/円	135.00	134.77	139.54

ROE(株主資本利益率)	8.9%	1.4%	8.9%	-	8.8%	0.1%
EPS	42円	9円	42円	-		

注: ①純利益は「親会社株主に帰属する純利益」を指しています。
 ②当期より加工食品事業の売上の計上基準について会計方針を変更(販売促進費等を販売費計上ではなく売上高から控除する方法へ変更)しています。これに伴い、前期の数値も遡及修正を行っています。詳細は7ページを参照ください。
 ③為替レートの実績は1月~9月までの期中平均で算出しています。

- 1.売上高は主力の加工食品と低温物流が堅調に推移し増収。
- 2.営業利益は主力2事業に加え、水産が好調に推移し大幅増益。
- 3.通期見込は2015年10月30日に発表した見込から変更していない。

利益重視の施策を徹底し増益幅が拡大

単位: 億円

		2016年3月期										
		第3四半期			第3四半期(累計)			通期				
		実績	前年同期間比		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率		増減	率	前回見込	増減
加工食品	売上高 計	513	10	2%	1,513	45	3%	1,985	46	2%	1,985	0
	家庭用調理品	122	5	4%	350	6	2%	469	7	2%	469	0
	業務用調理品	235	-3	-1%	657	-18	-3%	866	-17	-2%	866	0
	農産加工品	45	2	4%	145	11	8%	183	10	6%	183	0
	海外	75	6	9%	228	35	18%	300	33	13%	300	0
	その他	35	-0	-1%	134	11	9%	167	11	7%	167	0
	営業利益	31	14	80%	65	27	70%	68	14	26%	68	0

注:①当期より売上の計上基準について会計方針を変更(販売促進費等を販売費計上ではなく売上高から控除する方法へ変更)しています。これに伴い、前期の売上高、営業利益についても遡及修正を行っています。詳細は7ページを参照ください。

②通期見込は2015年10月30日に発表した見込から変更していません。

- 1.家庭用調理品は主力の米飯類が伸長し増収。業務用調理品は引き続き利益率を重視した商品施策の徹底により減収。営業利益は前期実施の価格改定などによる利益改善効果に加え、国内生産体制強化に伴う集約・効率化の寄与も高まり増益。
- 2.海外は米国のイノバジアン・クイジーンの販売が引き続き好調に推移し増収。タイのGFPTニチレイは主に同国内販売相場の低迷により減収となったものの、営業利益はパーツ安に伴う輸出採算の改善やコスト低減効果もあり、通期見込に沿って進捗。

水産、畜産ともに計画を上回って進捗

単位:億円

		2016年3月期										
		第3四半期			第3四半期(累計)			通期				
		実績	前年同期間比		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率		増減	率	前回見込	増減
水産	売上高	217	13	6%	558	6	1%	689	2	0%	689	0
	営業利益	6	4	188%	7	3	62%	4	2	63%	4	0
畜産	売上高	252	10	4%	702	40	6%	881	-14	-2%	881	0
	営業利益	3	1	79%	7	3	67%	6	2	60%	6	0

注: 通期見込は2015年10月30日に発表した見込から変更していません。

- 1.水産は販売数量が伸長した貝類が増収に寄与。調達拠点の多様化により加工品の利益率が改善したエビが増益に大きく貢献。
- 2.畜産は中食ルート向けの加工品の販売が好調に推移。供給不足で販売価格が上昇した国産のチキン、ビーフも引き続き増収増益に寄与。

国内は好調に推移、海外も増収増益

単位: 億円

		2016年3月期										
		第3四半期			第3四半期(累計)			通期				
		実績	前年同期間比		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率		増減	率	前回見込	増減
低温 物流	売上高計	480	20	4%	1,397	47	4%	1,820	37	2%	1,820	0
	国内小計	388	11	3%	1,133	24	2%	1,465	18	1%	1,465	0
	物流ネットワーク	235	-1	-0%	691	-6	-1%	897	-17	-2%	897	0
	地域保管	153	11	8%	442	30	7%	568	35	7%	568	0
	海外	88	9	11%	251	23	10%	330	17	5%	330	0
	その他・共通	4	1	26%	12	0	3%	25	2	10%	25	0
	営業利益計	35	5	15%	88	16	23%	100	13	15%	100	0
	国内小計	31	4	14%	80	15	23%	92	15	19%	92	0
	物流ネットワーク	11	-1	-6%	31	6	22%	38	6	19%	38	0
	地域保管	20	4	28%	49	10	24%	54	9	19%	54	0
	海外	4	1	50%	10	2	30%	11	1	9%	11	0
	その他・共通	-0	-0	-	-2	-1	-	-3	-3	-	-3	0

注: ①地域保管事業に物流ネットワーク事業の業務を一部統合しています。

②通期見込は2015年10月30日に発表した見込から変更していません。

- 国内はTC(通過型センター)事業が堅調に推移したことに加え、前下期に稼働した咲洲DCの売上増も増収に寄与。営業利益は東京圏を中心に保管貨物の在庫量が高水準で推移したことにより増益。
- 海外は欧州で運送の取り扱いが引き続き拡大し増収。営業利益は輸入果汁の加工業務の増加や乳製品の搬入増などが寄与し増益。

參考資料

2016年3月期第3四半期 連結バランスシートの変動要因

単位: 億円(未満切り捨て)

科目	15/3	15/12	増減	
〔資産の部〕				
流動資産	1,387	1,553	165	①
固定資産	2,032	2,029	△ 3	
資産の部合計	3,420	3,582	162	
〔負債・純資産の部〕				
流動負債	897	1,089	191	②
固定負債	999	905	△ 94	③
負債の部合計	1,897	1,994	96	
純資産の部	1,522	1,588	65	
(うち株主資本)	1,303	1,389	85	
有利子負債	1,076	1,054	△ 21	
(うちリース債務除く)	873	857	△ 15	
科目	14/12	15/12	増減	
設備投資等	178	122	△ 55	④
(うちリース資産除く)	161	97	△ 63	
減価償却費	114	122	8	
(うちリース資産除く)	86	93	7	

【主な要因】

- ① 売上債権+173
(売上の増加や年末需要による季節的要因)
- ② 1年内償還予定の社債+100
(長期から短期への振替)
買掛金+56(季節的要因)
- ③ 社債△100
(長期から短期への振替)
- ④ 設備投資の主な内訳
 - <加工食品事業>
白石工場 業務用春巻きラインの増設
GFPTニチレイ 第4加工ラインの増設
 - <低温物流事業>
船橋DC 物流センターの一部建替

注:「設備投資等」には無形固定資産への投資を含んでいます。

2016年3月期第3四半期 営業外収支・特別損益の変動要因

単位：億円(未満切り捨て)

プラス表示は利益を示す		第3四半期累計			通 期		
		14/12	15/12	増減	15/3	見込	増減
【営業外収支】		△1	△0	0	△5	△6	△0
(主要項目)							
金融収支		△3	△2	0	△5	△5	△0
持分法による投資損益		1	0	△0	1	△0	△2
【特別損益】		△7	△6	0	△10	△7	2
(主要項目)							
固定資産売却損・除却損		△8	△3	4	△10	△5	5
事業所閉鎖損失		-	△2	△2	-	△2	△2

加工食品事業の売上計上基準変更の影響について

1.売上高

【組替後】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
売上高 計	1,382	3,947	5,199
加工食品 小計	502	1,468	1,939
家庭用調理品	117	343	462
業務用調理品	238	675	883
農産加工品	43	134	172
海外	69	193	267
その他	35	123	155

【組替前】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
売上高 計	1,446	4,138	5,452
加工食品 小計	566	1,659	2,192
家庭用調理品	151	443	597
業務用調理品	259	740	965
農産加工品	49	152	197
海外	69	193	267
その他	38	131	166

【影響額】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
売上高 計	-64	-191	-253
加工食品 小計	-64	-191	-253
家庭用調理品	-34	-100	-135
業務用調理品	-21	-65	-82
農産加工品	-6	-18	-25
海外	0	0	0
その他	-3	-8	-11

2.営業利益

【組替後】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
営業利益 計	59	136	174
うち、加工食品	17	38	54

【組替前】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
営業利益 計	60	137	176
うち、加工食品	18	39	56

【影響額】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
営業利益 計	-1	-1	-2
うち、加工食品	-1	-1	-2

3.当期純利益

【組替後】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
当期純利益	35	77	95

【組替前】 単位:億円

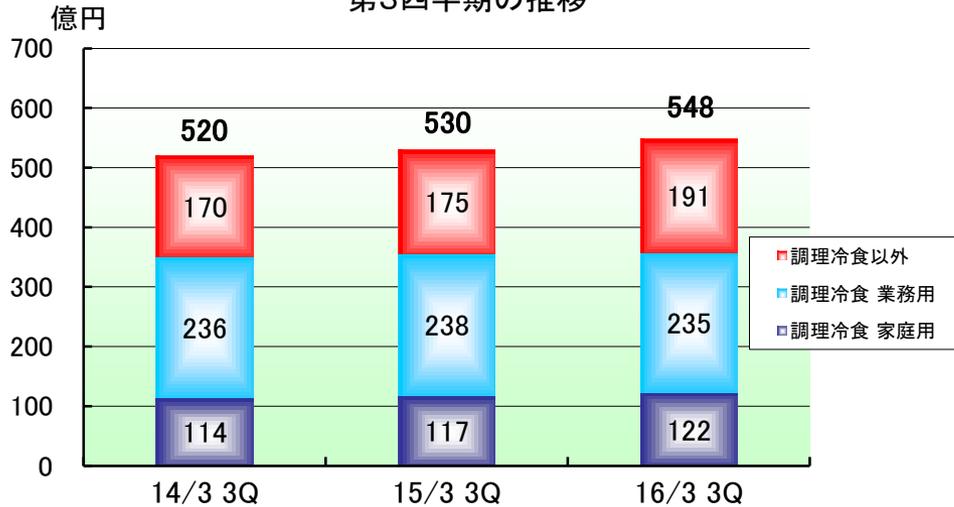
	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
当期純利益	35	78	97

【影響額】 単位:億円

	2014年度		
	3Q	第3四半期 (累計)	通期
当期純利益	-1	-1	-2

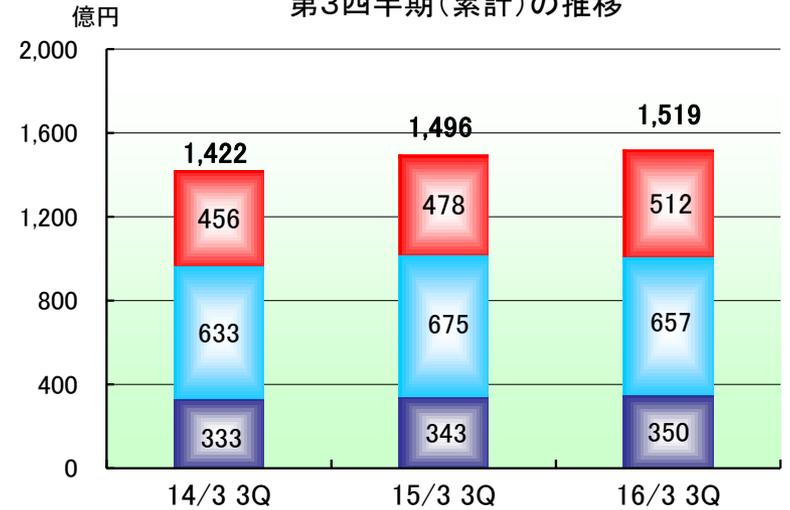
国内の冷凍食品売上高の推移 (日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)

第3四半期の推移

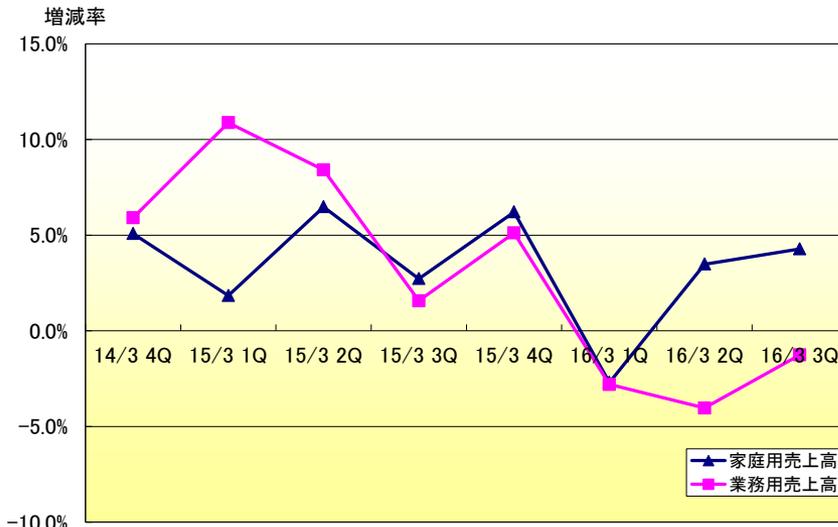


注: 売上計上基準の変更(従来、販売費で計上していたものの一部を売上高から控除) による影響を反映。

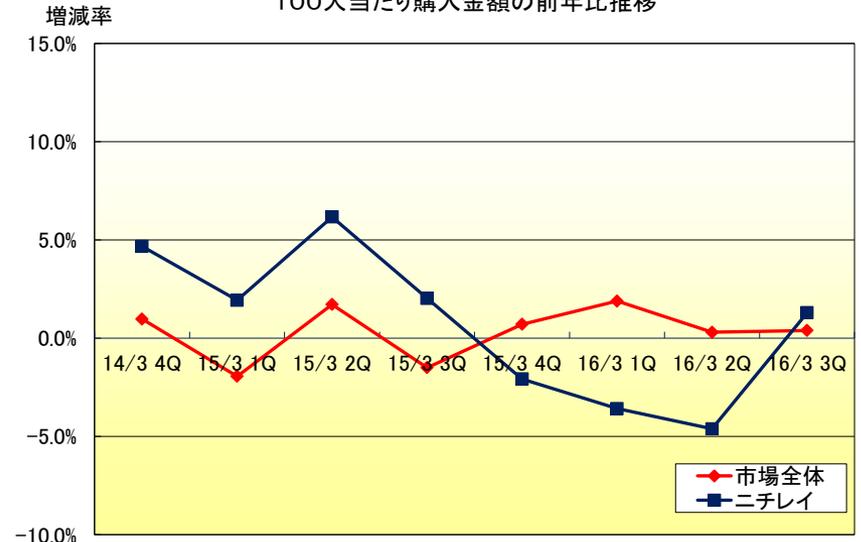
第3四半期(累計)の推移



当社の家庭用・業務用調理冷食の売上高前年比増減率推移

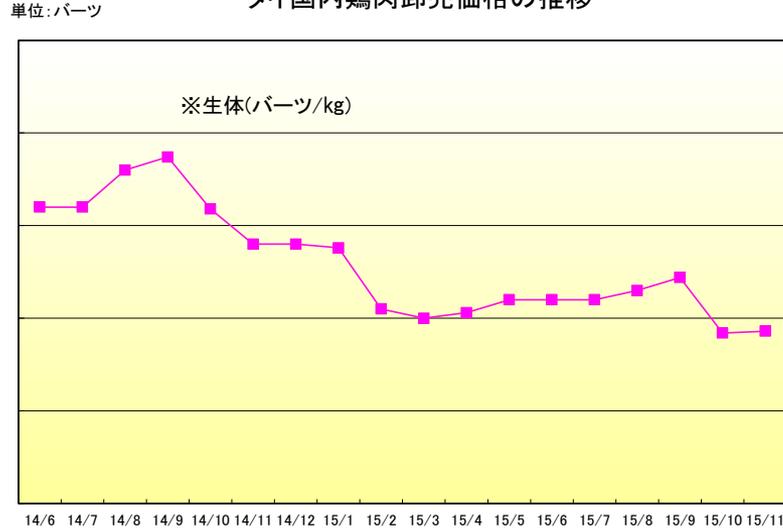


SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年比推移



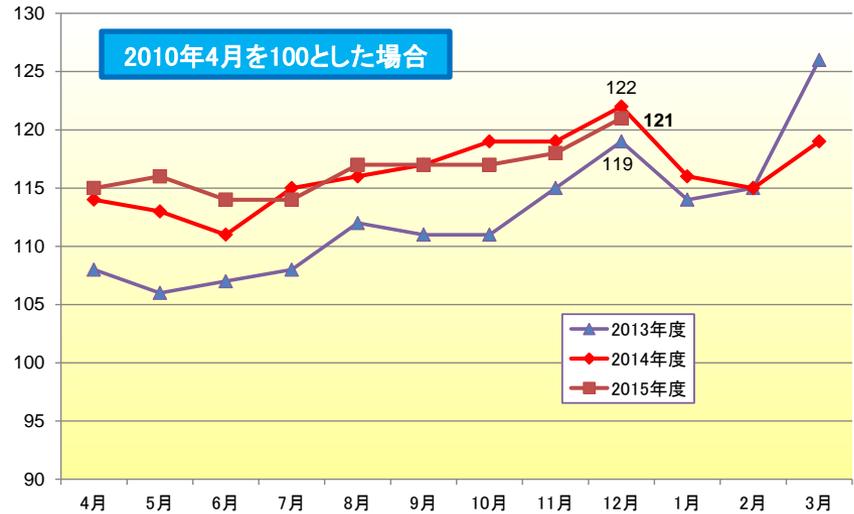
出典: インテージSCI(冷凍調理 100人当たり購入金額の前年同期比。購入ルート=生協店舗を除く)

タイ国内鶏肉卸売価格の推移



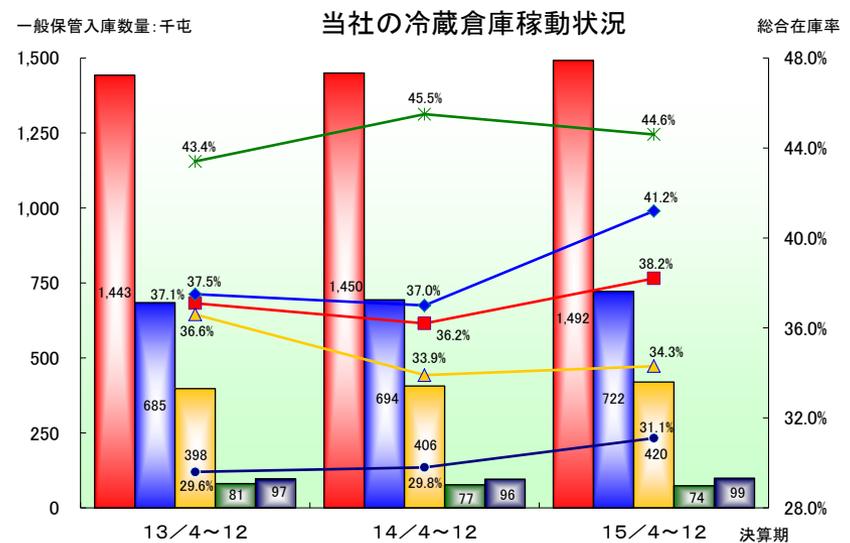
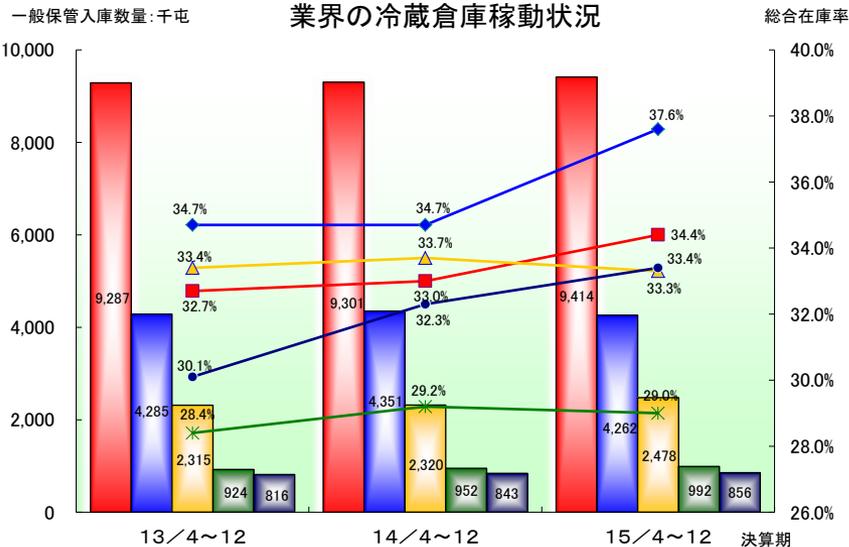
出典：(独)農畜産業振興機構(alic)発表のデータを当社が加工。

成約運賃指数(月別)の推移



出典：(社)全日本トラック協会発表のデータを当社が加工。常温を含む全温度帯が対象。

冷蔵倉庫の稼働状況(業界は日本冷蔵倉庫協会資料を当社で加工)



注：在庫率とは冷蔵庫内の全スペースにおいて貨物が占める割合を指します。また、スペースには通路や作業空間などの荷物が置けない空間が通常半分程度含まれています。

当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果
など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。